

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



## 今年の生育状況は？（4月1日現在）



- 2、3月の天候に恵まれたため、ブドウの生育は大きく進んでいます。NOSAI の調査ではブドウ各品種全般に昨年より7～10日程度進んでいる調査結果となっています。
- まだ発芽期を迎えていない地域では、それまでに行うべき休眠期防除や園内の衛生管理の徹底について念を押して下さい。



## 生育初期の管理における留意点



- 若木に窒素を効かせて樹冠拡大を急がない方が生産は安定し、最終的に樹の寿命も長くなります。
- 近年の気象の傾向で4月下旬～5月下旬の期間は、降水量が少なく乾燥が続きます。ジベ処理効果を高め、新梢の初期伸長を確保するために、かん水を適切に行いましょう。
- 生育ステージを示す表現で、展葉何枚目という言い方があります。これは、発芽後十円玉の大きさ以上に展葉した新梢あたりの葉の枚数で生育時期を示した表現です。  
1枚展葉するのに概ね3日ぐらい必要なので展葉10枚期ならば展葉してから大体1ヶ月後の時期を表します。
- 病害虫防除は予防散布により、症状が出る前からの対応が重要です。シャインマスカットに発生が多い黒とう病はべと病より早く現れるので、展葉初期からオンリーワン等を使った防除が必要です。



山梨県果樹試験場

新梢に発生した黒とう病（果試）